

第6回(2020年) 日本医師会員喫煙意識調査報告

令和3年1月

公益社団法人 日本医師会

日本医師会委託調査研究

【調査主旨】

日本医師会の禁煙推進活動の一環として、会員への喫煙意識調査を2000年、2004年、2008年、2012年、2016年の4年ごとに実施しており、2020年においても再度調査を実施して、会員の喫煙の現状とその関連要因に関して把握する。

【委託協力】

日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野
兼板佳孝教授・井谷修准教授・大塚雄一郎助教・
松本悠貴助教

医師の喫煙行動に関する日本医師会の取り組み

1999年：WHOは医師は喫煙すべきでないことを提唱。

2000年：第1回日本医師会員喫煙意識調査実施。

喫煙率 男性27.1%, 女性6.8%。

2003年：禁煙推進に関する日本医師会宣言（禁煙日医宣言）発表。

医師および医療関係者の禁煙を推進すること、医療機関及び医師会館の全館禁煙を推進することを提唱。

2004年：第2回日本医師会員喫煙意識調査実施。

喫煙率 男性21.5%, 女性5.4%。

2008年：日本医師会「禁煙に関する声明文」を発表。

喫煙防止教育の推進など、今後に進めていく5つの取り組みを発表。

医師の喫煙行動に関する日本医師会の取り組み (つづき)

2008年：第3回日本医師会員喫煙意識調査実施。

喫煙率 男性15.0%, 女性4.6%。

2012年：日本医師会「受動喫煙ゼロ宣言」

～子どもたちを受動喫煙から守るために～を発表。

妊婦や乳幼児の家庭内での受動喫煙の防止を推進することなど、6つの取り組みを発表。

2012年：第4回日本医師会員喫煙意識調査実施。

喫煙率 男性12.5%, 女性2.9%。

2016年：第5回日本医師会員喫煙意識調査実施。

喫煙率 男性10.9%, 女性2.4%。

2020年の主な調査目的

- 日本医師会員の喫煙率の推移(2000年から2020年)を明らかにする。
- 日本医師会員の喫煙に関する意識について明らかにする。
 - 日本医師会員の加熱式たばこの使用実態を明らかにする。
 - 日本医師会員の加熱式たばこに関する意識について明らかにする。

調査方法

対象者: 2019年11月時点の日本医師会員の中から、
無作為に抽出した男性6,000名、女性1,500名。

データ収集:

自記式質問調査票と返信用封筒を郵便で送付し、返送させた。

調査票は無記名式。

未返送者を把握するため返信用封筒にはあらかじめ氏名を
記載した。

(この氏名と回答内容の照合は行わない事を対象者に約束した。)

未返送者には3回まで催促した。

調査時期: 2020年1月から同年10月。

調査項目

- (1)過去および現在の喫煙状況
- (2)使用しているたばこ製品
- (3)喫煙に対する考え方(加熱式たばこに対する考えを含む)
- (4)医療機関内での喫煙防止対策
- (5)患者への禁煙指導状況
- (6)生活習慣(飲酒、運動、睡眠、食事)
- (7)就労状況(労働時間、休日の取得)
- (8)抑うつ気分
- (9)健康状態
- (10)性、年齢、診療科目、雇用状況

定 義

喫煙:タバコを吸うこと。

現在喫煙者:現在の喫煙状況について、
「毎日吸っている」あるいは
「時々吸う」と回答した者。

過去喫煙者:過去に6ヶ月以上の喫煙習慣を有し、
かつ現在喫煙者に該当しない者。

非喫煙者: 現在喫煙者と過去喫煙者のいずれにも
該当しない者。

解 析

- ① 調査年別、男女別、年齢階級別、診療科別に喫煙率を算出。
- ② 喫煙に対する考え方、患者への禁煙指導とその内容、禁煙指導の障害に関する回答を集計。
- ③ 現在喫煙者が使用しているたばこ製品を男女別、年齢階級別に集計。
- ④ 加熱式たばこに対する意識に関する回答を集計。

結 果

対象者	7,500名
対象から除外 (入院・死亡・住所不明・退会)	137名
実際の対象者	7,363名
反応例	5,588名
反応率	75.9%
性別、年齢、喫煙状況不明	99名
解析例	5,489名

表1 日本医師会員の喫煙状況の分布(単位: %)

		非喫煙者	過去喫煙者	現在喫煙者	全体
男性	2000年 (n=2500)	35.0	37.9	27.1	100.0
	2004年 (n=2432)	37.5	41.0	21.5	100.0
	2008年 (n=2298)	39.3	45.7	15.0	100.0
	2012年 (n=4627)	41.2	46.3	12.5	100.0
	2016年 (n=4432)	44.9	44.2	10.9	100.0
	2020年 (n=4341)	50.5	42.3	7.1	100.0
女性	2000年 (n=1271)	84.9	8.3	6.8	100.0
	2004年 (n=1201)	87.3	7.3	5.4	100.0
	2008年 (n=1188)	88.6	6.7	4.6	100.0
	2012年 (n=1227)	88.2	8.9	2.9	100.0
	2016年 (n=1151)	91.1	6.5	2.4	100.0
	2020年 (n=1148)	90.2	7.8	2.1	100.0

図1 喫煙率の推移(単位: %)



表2 年齢階級別の喫煙率の推移

		年 齢 階 級					
		20-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
男性							
2000年	n	287	662	577	476	498	2500
	喫煙率(%)	30.3	31.0	27.6	23.7	22.9	27.1
2004年	n	235	616	634	399	548	2432
	喫煙率(%)	26.4	24.0	24.4	17.8	15.9	21.5
2008年	n	144	503	700	407	544	2298
	喫煙率(%)	16.0	15.7	17.0	15.2	11.4	15.0
2012年	n	283	859	1426	1034	1025	4627
	喫煙率(%)	14.8	12.9	12.9	15.4	8.2	12.5
2016年	n	203	645	1315	1282	987	4432
	喫煙率(%)	10.8	12.4	12.2	11.6	7.3	10.9
2020年	n	145	557	1132	1379	1128	4341
	喫煙率(%)	9.0	8.6	7.5	8.1	4.5	7.1
女性							
2000年	n	347	332	215	120	257	1271
	喫煙率(%)	4.9	7.8	7.4	5.8	8.2	6.8
2004年	n	312	349	222	125	193	1201
	喫煙率(%)	6.4	5.7	6.8	0.8	4.7	5.4
2008年	n	237	351	284	145	171	1188
	喫煙率(%)	4.6	6.3	3.5	5.5	2.3	4.6
2012年	n	223	358	315	188	143	1227
	喫煙率(%)	2.7	2.5	2.9	5.3	1.4	2.9
2016年	n	183	302	311	194	161	1151
	喫煙率(%)	2.2	2.0	1.9	3.1	3.7	2.4
2020年	n	99	302	353	243	151	1148
	喫煙率(%)	1.0	1.3	2.3	3.3	2.0	2.1

表3 診療科別の喫煙率の推移 (男性)

		内科	呼吸器科	循環器科	消化器科	外科	整形外科	小児科	産婦人科
2000年	n	1156	159	260	399	403	238	293	187
	%	24.2	18.9	20.0	27.1	32.5	26.9	24.2	26.2
2004年	n	1112	161	251	395	431	234	282	179
	%	20.5	14.9	15.5	21.5	24.6	21.4	18.4	26.3
2008年	n	1027	110	199	351	339	243	254	152
	%	13.0	3.6	13.6	13.7	19.8	15.2	13.4	17.8
2012年	n	2127	208	412	690	659	424	462	263
	%	11.6	6.7	9.0	13.5	12.4	17.0	10.8	11.4
2016年	n	1918	231	404	613	599	452	392	259
	%	9.8	3.5	8.4	11.3	13.2	11.9	8.7	13.1
2020年	n	1911	227	396	584	546	428	390	210
	%	6.0	4.0	3.0	8.4	8.1	8.2	5.1	11.9
		精神科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	健診科	その他	
2000年	n	101	128	75	88	84	-	250	
	%	32.7	22.7	38.7	27.3	33.3	-	21.6	
2004年	n	113	139	84	86	108	-	263	
	%	22.1	20.9	26.2	17.4	18.5	-	17.5	
2008年	n	91	114	68	94	102	-	280	
	%	23.1	16.7	19.1	13.8	16.7	-	12.1	
2012年	n	198	205	134	211	228	-	500	
	%	17.7	7.8	17.9	10.9	11.8	-	12.4	
2016年	n	203	206	126	181	183	-	569	
	%	14.3	10.2	17.5	9.9	15.3	-	9.8	
2020年	n	198	175	155	197	190	59	482	
	%	11.6	9.1	12.9	8.6	5.8	1.7	6.2	

表4 診療科別の喫煙率の推移 (女性)

		内科	呼吸器科	循環器科	消化器科	外科	整形外科	小児科	産婦人科
2000年	n	538	49	64	66	23	13	270	104
	%	6.9	2.0	3.1	9.1	13.0	7.7	8.1	3.8
2004年	n	528	39	55	82	14	19	238	80
	%	4.4	0.0	5.5	2.4	7.1	10.5	1.7	7.5
2008年	n	475	32	40	68	17	19	216	96
	%	4.0	3.1	0.0	5.9	0.0	10.5	1.4	12.5
2012年	n	506	50	52	56	19	10	168	107
	%	2.4	2.0	3.8	0.0	10.5	10.0	2.4	4.7
2016年	n	445	36	61	60	20	13	198	99
	%	1.6	0.0	0.0	3.3	5.0	7.7	3.5	5.1
2020年	n	469	36	37	72	27	22	155	96
	%	1.5	0.0	0.0	1.4	3.7	4.5	1.3	2.1
		精神科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	健診科	その他	
2000年	n	59	135	3	188	73	—	98	
	%	3.4	5.9	0.0	8.5	6.8	—	7.1	
2004年	n	54	126	6	170	69	—	104	
	%	5.6	7.9	33.3	5.9	2.9	—	4.8	
2008年	n	70	109	2	167	54	—	132	
	%	5.7	2.8	0.0	6.6	1.9	—	4.5	
2012年	n	74	124	2	154	62	—	140	
	%	5.4	1.6	0.0	4.5	0.0	—	2.9	
2016年	n	66	95	4	141	61	—	142	
	%	4.5	1.1	25.0	2.8	0.0	—	2.8	
2020年	n	61	114	4	122	49	28	124	
	%	0.0	1.8	0.0	4.9	6.1	0.0	2.4	

表5 現在喫煙者の使用しているたばこ製品（男性）

日本医師会員		年 齢 階 級				
		20-39	40-49	50-59	60-69	70-
		(n=13)	(n=48)	(n=83)	(n=111)	(n=51)
		合 計				
		(n=306)				
男性	紙巻きタバコ	53.8	43.8	66.3	80.2	88.2
	加熱式タバコ	46.2	60.4	37.3	23.4	15.7
	その他	0.0	2.1	2.4	4.5	0.0
		2.6				
一般国民		年 齢 階 級				
		20-39	40-49	50-59	60-69	70-
		(n=205)	(n=191)	(n=169)	(n=191)	(n=127)
		合 計				
		(n=883)				
男性	紙巻きタバコ	60.0	68.6	76.9	89.5	98.4
	加熱式タバコ	51.7	42.4	30.2	15.7	1.6
	その他	1.0	1.6	3.6	0.5	0.8
		1.5				

※平成30年国民健康・栄養調査より作成した。

※重複回答可であるためすべてのカテゴリーの和が100%を超える場合がある。 16

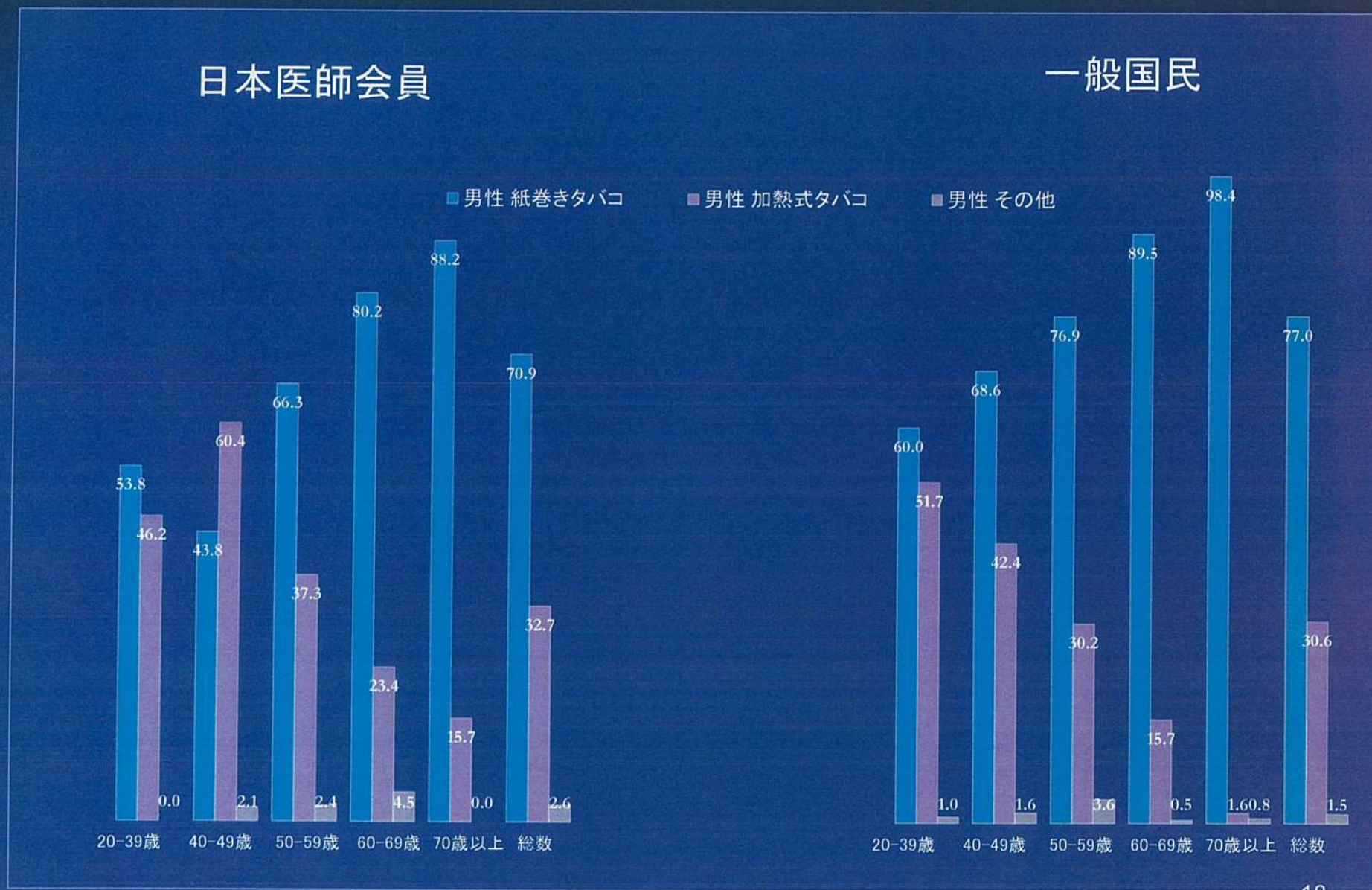
表6 現在喫煙者の使用しているたばこ製品(女性)

日本医師会員		年 齢 階 級					
		20-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
		(n=1)	(n=4)	(n=8)	(n=8)	(n=3)	(n=24)
女性	紙巻きタバコ	100.0	75.0	87.5	75.0	100.0	83.3
	加熱式タバコ	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0	16.7
	その他	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	8.3
一般国民		年 齢 階 級					
		20-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
		(n=68)	(n=74)	(n=56)	(n=54)	(n=32)	(n=284)
女性	紙巻きタバコ	67.6	81.1	94.6	92.6	100.0	84.9
	加熱式タバコ	41.2	31.1	14.3	13.0	3.1	23.6
	その他	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.4

※平成30年国民健康・栄養調査より作成した。

※重複回答可であるためすべてのカテゴリーの和が100%を超える場合がある。 17

図2 現在喫煙者の使用しているたばこ製品(男性)



※平成30年国民健康・栄養調査より作成した。

表7 現在喫煙者が使用しているたばこ製品の組み合わせ(男性)

日本医師会員	年 齢 階 級					合計
	20-39 (n=13)	40-49 (n=48)	50-59 (n=83)	60-69 (n=111)	70- (n=51)	
紙巻きたばこのみ	53.8	37.5	61.4	73.0	84.3	65.4
加熱式たばこのみ	46.2	54.2	32.5	17.1	11.8	27.5
紙巻きたばこ及び加熱式たばこ	0.0	6.3	4.8	6.3	3.9	5.2
上記以外	0.0	2.1	1.2	3.6	0.0	2.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

一般国民	年 齢 階 級					合計
	20-39 (n=205)	40-49 (n=191)	50-59 (n=169)	60-69 (n=191)	70- (n=127)	
紙巻きたばこのみ	47.8	56.0	66.3	83.8	97.6	68.1
加熱式たばこのみ	40.0	30.4	20.1	10.5	0.8	22.1
紙巻きたばこ及び加熱式たばこ	11.7	12.0	10.1	5.2	0.8	8.5
上記以外	0.5	1.6	3.6	0.5	0.8	1.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※平成30年国民健康・栄養調査より作成した。

表8 現在喫煙者が使用しているたばこ製品の組み合わせ(女性)

日本医師会員		年 齢 階 級				
	20-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
	(n=1)	(n=4)	(n=8)	(n=8)	(n=3)	(n=24)
紙巻きたばこのみ	100.0	50.0	87.5	75.0	100.0	79.2
加熱式たばこのみ	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5
紙巻きたばこ及び加熱式たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上記以外	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	8.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

一般国民		年 齢 階 級				
	20-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
	(n=68)	(n=74)	(n=56)	(n=54)	(n=32)	(n=284)
紙巻きたばこのみ	58.8	67.6	85.7	87.0	96.9	76.1
加熱式たばこのみ	32.4	17.6	5.4	7.4	0.0	14.8
紙巻きたばこ及び加熱式たばこ	8.8	13.5	8.9	5.6	3.1	8.8
上記以外	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※平成30年国民健康・栄養調査より作成した。

表9 外来患者に対するたばこ種類別の問診状況

	無回答	3種類 全部を 聞いて いる	紙巻き と加熱 を聞い ている	紙巻き と電子 を聞い ている	加熱と 電子を 聞いて いる	紙巻き のみを 聞いて いる	加熱の みを聞 いてい る	電子の みを聞 いてい る	3種類 全部を 聞いて いない	合計	N
非喫煙者・過去喫煙者	5.1%	31.4%	3.4%	1.4%	0.3%	25.1%	0.4%	0.1%	32.9%	100.0%	5156
紙巻きたばこのみ	4.1%	21.9%	5.9%	2.3%	0.0%	24.2%	0.5%	0.0%	41.1%	100.0%	219
加熱式たばこのみ	1.1%	36.8%	14.9%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	39.1%	100.0%	87
現在喫煙者 紙巻きたばこ及び加 熱式たばこ	6.3%	25.0%	18.8%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	100.0%	16
その他	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	8

表10 患者に加熱式たばこ使用について質問された場合にどのように答えるか

		無回答	紙巻きタバコを使わない方がいいと伝える	紙巻きタバコの代わりとて有用と伝える	何とも言えないと伝える	その他	合計	N
非喫煙者・過去喫煙者		2.5%	73.4%	1.8%	15.8%	6.4%	100.0%	5156
現在喫煙者	紙巻きたばこのみ	4.6%	40.2%	4.1%	38.4%	12.8%	100.0%	219
	加熱式たばこのみ	3.4%	44.8%	11.5%	35.6%	4.6%	100.0%	87
	紙巻きたばこ及び加熱式たばこ	0.0%	37.5%	6.3%	56.3%	0.0%	100.0%	16
	その他	12.5%	25.0%	0.0%	62.5%	0.0%	100.0%	8

表11 加熱式たばこについての心配や懸念

		長期間の安全性のエビデンスがない	国による規制管理が緩い	若者にとって喫煙の門戸となる	ニコチン依存の長期的な健康影響	子どもへの販売や宣伝	喫煙禁止場所での規制逃れの製品になる
非喫煙者・ 過去喫煙者 (N=5156)		56.7%	28.1%	35.5%	35.2%	21.4%	27.3%
	紙巻きたばこのみ(N=219)	56.6%	13.7%	22.4%	18.7%	11.4%	21.5%
	加熱式たばこのみ(N=87)	87.4%	8.0%	12.6%	27.6%	5.7%	4.6%
	紙巻きたばこ及び加熱式たばこ(N=16)	68.8%	6.3%	12.5%	18.8%	6.3%	12.5%
	その他(N=8)	75.0%	50.0%	50.0%	37.5%	25.0%	37.5%
		マスメディアによる宣伝が喫煙を正当化する	中毒を永続化する可能性がある	健康影響が少ないと誤解される	紙巻きたばこも併用すること	受動喫煙を起こさないと誤解されること	
非喫煙者・ 過去喫煙者 (N=5156)		18.8%	22.3%	44.1%	7.5%	34.4%	
	紙巻きたばこのみ(N=219)	8.7%	11.4%	31.1%	4.6%	23.7%	
	加熱式たばこのみ(N=87)	5.7%	11.5%	25.3%	0.0%	16.1%	
	紙巻きたばこ及び加熱式たばこ(N=16)	6.3%	37.5%	43.8%	18.8%	50.0%	
	その他(N=8)	12.5%	25.0%	75.0%	12.5%	87.5%	

※重複回答可であるためすべての選択肢の和が100%を超える。

表12 男性医師の喫煙に対する考え方と態度(単位: %)

	男 性					
	2000年 (n=2500)	2004年 (n=2432)	2008年 (n=2298)	2012年 (n=4627)	2016年 (n=4432)	2020年 (n=4341)
喫煙に対する考え						
医師は立場上喫煙すべきでない	71.9	74.5	77.2	75.9	79.7	80.7
患者は喫煙すべきでない	42.8	49.4	52.4	54.5	59.4	61.6
患者への禁煙指導とその内容						
患者に喫煙の危険性を具体的に説明する	62.4	61.2	60.4	59.3	59.1	55.6
具体的に患者がたばこをやめるために目標の日時を設定し診療・指導	4.4	6.0	6.5	6.2	6.8	7.3
患者に教材を与え、患者自身が自力で禁煙できるように指導	4.6	7.0	6.0	5.5	5.8	4.8
専門医を紹介している	1.2	2.3	7.0	10.7	11.0	15.3
禁煙補助剤を処方している	14.2	20.2	14.2	14.2	13.0	12.7
禁煙の進み具合を定期的にチェックするための外来受診日を設定	0.8	1.4	2.5	3.4	3.6	4.2
禁煙指導の障害						
時間かかる	46.9	50.6	48.0	51.3	51.8	45.7
カウンセリングが診療報酬で保証されていない	19.3	24.6	26.2	24.1	23.4	21.1
喫煙問題は自分に関係ない	6.7	6.8	4.3	4.4	3.9	2.2
喫煙問題について十分な教育受けていない	20.6	19.5	13.5	12.8	12.4	10.4
成功したケースを見たことがないため無駄である	7.6	5.3	4.0	2.8	2.5	2.3
患者がはじめから指導を拒否している	20.7	22.1	17.3	16.5	17.5	19.6

表13 女性医師の喫煙に対する考え方と態度(単位: %)

	女 性					
	2000年 (n=1271)	2004年 (n=1201)	2008年 (n=1188)	2012年 (n=1227)	2016年 (n=1151)	2020年 (n=1148)
喫煙に対する考え						
医師は立場上喫煙すべきでない	77.0	80.4	80.3	79.6	81.8	82.1
患者は喫煙すべきでない	42.6	52.2	59.3	62.0	63.2	64.3
患者への禁煙指導とその内容						
患者に喫煙の危険性を具体的に説明する	61.2	63.1	62.8	64.1	61.0	59.8
具体的に患者がたばこをやめるために目標の日時を設定し診療・指導	4.8	5.2	8.3	8.2	7.8	8.0
患者に教材を与え、患者自身が自力で禁煙できるように指導	5.0	7.0	6.8	6.3	5.0	6.1
専門医を紹介している	1.6	4.7	9.6	18.2	15.7	21.0
禁煙補助剤を処方している	12.8	18.4	14.1	11.0	10.8	10.0
禁煙の進み具合を定期的にチェックするための外来受診日を設定	1.5	1.4	3.4	3.6	3.3	5.1
禁煙指導の障害						
時間かかる	41.1	49.9	50.2	49.6	48.7	47.4
カウンセリングが診療報酬で保証されていない	17.2	21.4	26.9	22.9	22.2	19.9
喫煙問題は自分に関係ない	6.5	5.1	2.5	2.4	2.3	0.9
喫煙問題について十分な教育受けていない	27.0	27.4	21.4	21.8	18.1	16.6
成功したケースを見たことがないため無駄である	6.4	6.2	3.4	2.7	1.7	2.4
患者がはじめから指導を拒否している	29.8	31.9	27.9	28.7	28.8	32.6

表14 国民の喫煙率と医師の喫煙率の比較

		喫煙率(%)	
		男性	女性
厚生労働省 国民健康・栄養調査			
2000年		47.4	11.5
2016年		30.2	8.2
2019年		27.1	7.6
日本医師会 会員の喫煙率調査			
2000年		27.1	6.8
2016年		10.9	2.4
2020年		7.1	2.1

結果要約(1)

- 2020年の喫煙率：
男性医師7.1% 女性医師2.1%
- 男女ともに、喫煙率は2000年の調査開始以降、調査回数を追うごとに低下してきている。
- 男女ともに、ほぼ全ての年齢階級で喫煙率の低下傾向が認められた。
- 男性では、全ての診療科で喫煙率の低下傾向が認められた。
- 女性では、サンプル数の多い、内科と小児科に喫煙率の低下傾向が認められた。

結果要約(2)

- 男性医師会員の現在喫煙者のなかで加熱式たばこの使用者割合は、32.7%であり、男性一般国民と同程度であった。
- 男性医師会員現在喫煙者のなかで紙巻きたばこと加熱式たばこを併用している人は5.2%であった。
- 加熱式たばこ使用者では、それ以外の人に比べて、加熱式たばこは紙巻きたばこの代替えとして有用と考える人が多い傾向にあった。

結果要約(3)

- 男女ともに「医師は喫煙すべきでない」と考える人が増加した。
- 男女ともに「患者は喫煙すべきでない」と考える人が増加した。
- 「喫煙問題について十分な教育受けていない」と考える医師が減少した。

結 論

- 日本医師会員の喫煙率は男女ともに減少している。
- 本研究結果を踏まえた上で、日本医師会による喫煙防止啓発活動が益々、推進されていくことが期待される。
- 引き続き、定期的に同様の調査を実施して、日本人医師の喫煙率などをモニタリングしていく必要がある。